

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和5年第47週の発生動向

### トピックス

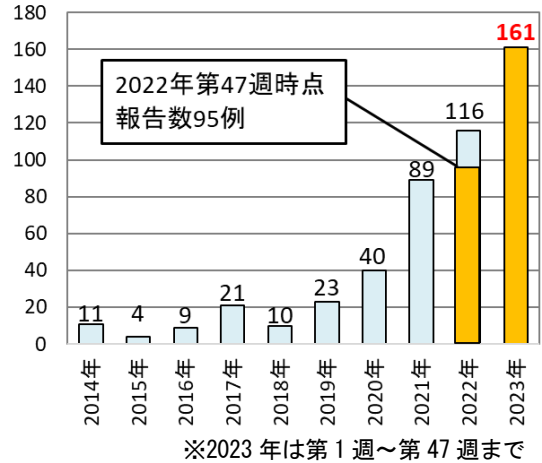
・**梅毒**(全数報告の感染症)の報告数が昨年と比べて大幅に増加している。診断週による累積報告数は161例と、1999年以降最も多くなった前年(116例)の約1.4倍、第47週時点(95例)と比較すると約1.7倍の報告数となり、今後も増加が懸念される。

性別は男性が93例、女性が68例で、年齢群別では、20歳代が全体の約4割を占めている。また、保健所別では宮崎市(105例)、都城(31例)保健所からの報告が多くなっている。

【梅毒】2023年(第1週~第47週)年齢別報告数

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
18	63	35	29	14	2

【梅毒】診断週による年別累計報告数の推移



### インフルエンザ(定点把握対象の疾患)

第47週のインフルエンザの定点当たり報告数が32.5と今シーズン初めて流行警報レベル開始基準値である「30」を超えた。定点当たりの報告数が「30」を超えるのは2020年第4週以来である。詳細後述。

### 全数報告の感染症(47週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：報告なし。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。  
4類感染症：つつが虫病3例。5類感染症：梅毒4例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	0~4歳	男	—	水様性下痢、O111(VT1)
4類	つつが虫病	宮崎市	40歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			60歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		高鍋	80歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳、梅毒性バラ疹
			40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	梅毒性バラ疹
		都城	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は2,697人(定点当たり55.5)で、前週比126%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、咽頭結膜熱及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は94人(1.6)で、前週比129%と増加した。高千穂(4.5)、都城(2.8)、小林(2.5)保健所の報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

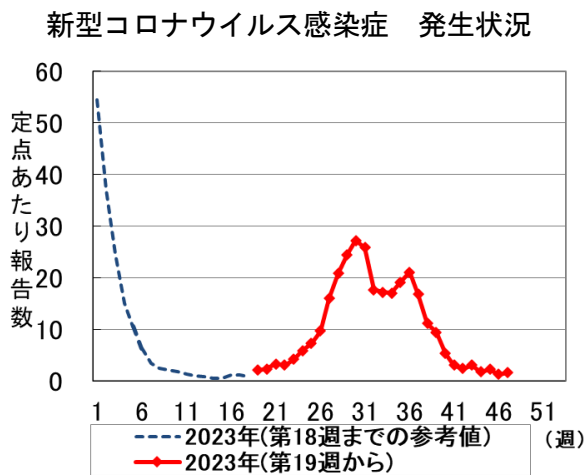
【インフルエンザ】

報告数は1,885人(32.5)で、前週比154%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(0.74)の約43.8倍であった。小林(77.8)、高鍋(38.8)、延岡(37.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約8割を占めた。

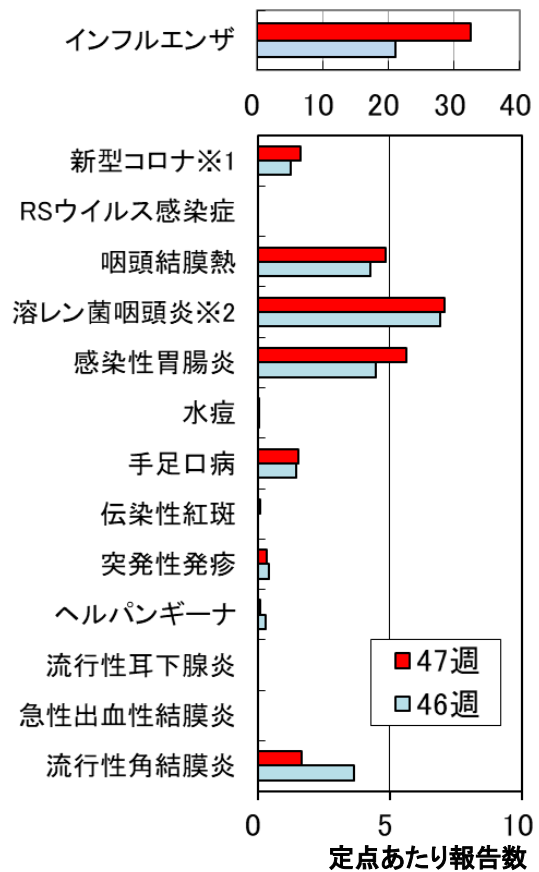
【咽頭結膜熱】

報告数は174人(4.8)で、前週比113%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(0.66)の約7.3倍であった。中央(13.0)、都城(7.8)、宮崎市(6.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から6歳が全体の約8割を占めた。

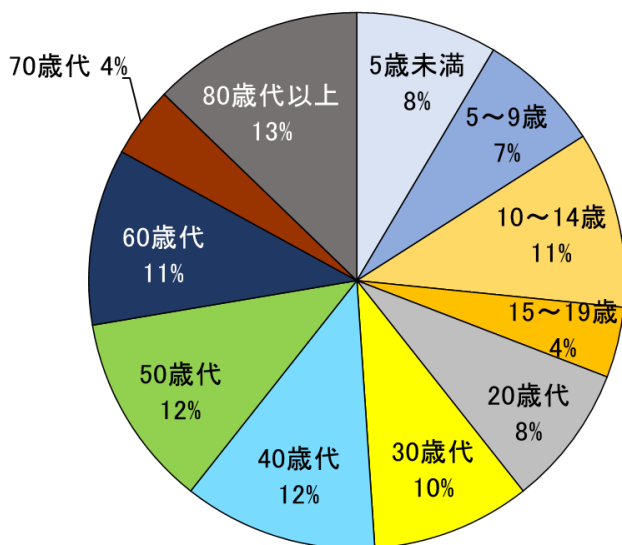
\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



《前週との比較》

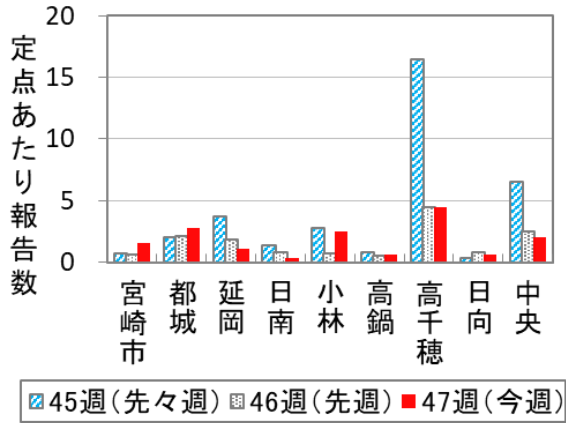


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第47週)

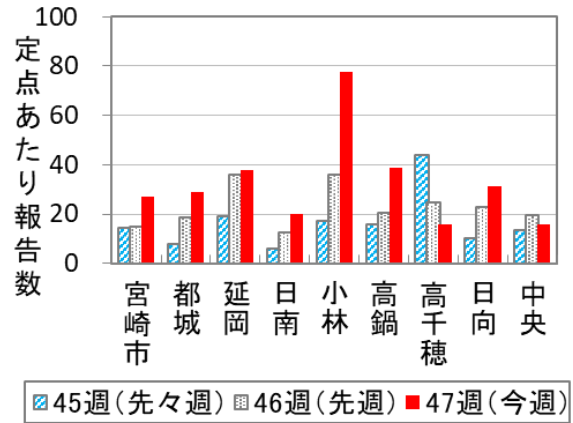


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

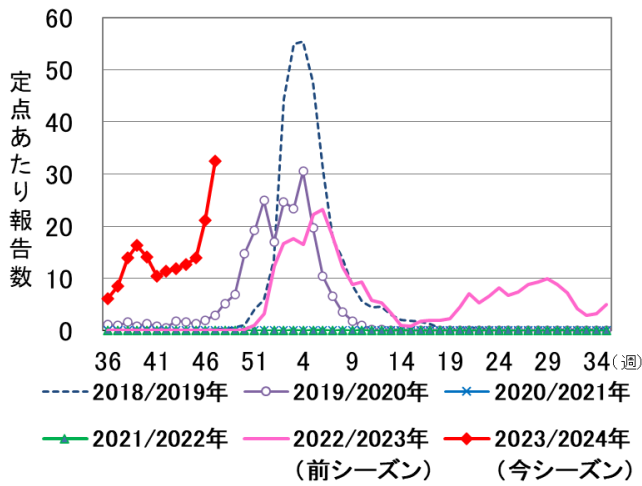
新型コロナウイルス感染症  
保健所別推移(3週分)



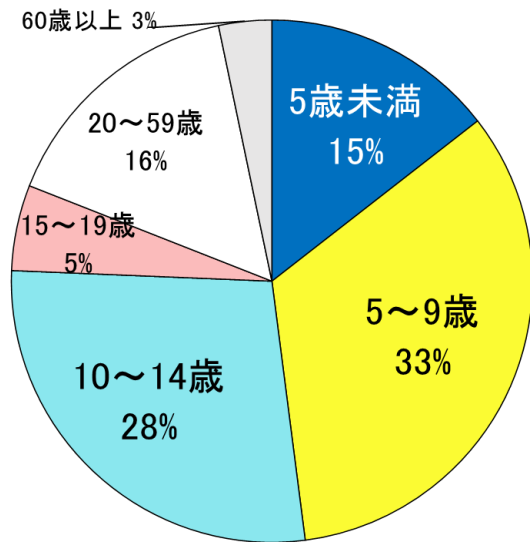
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



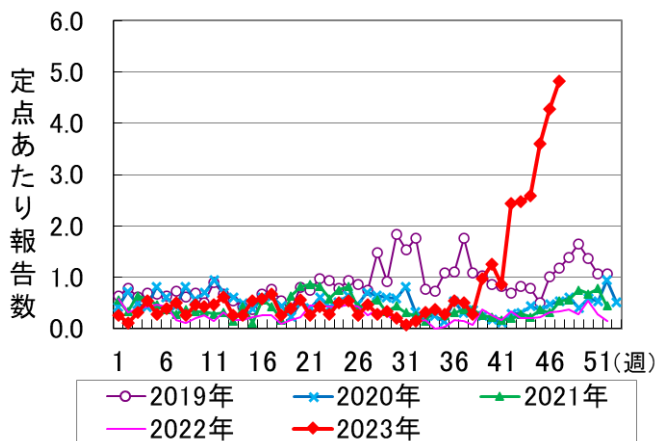
インフルエンザ 発生状況



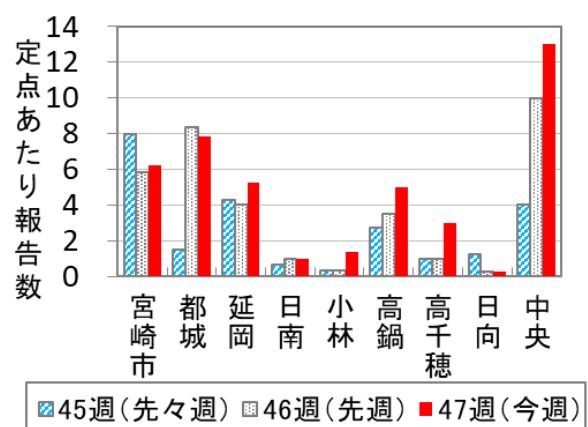
インフルエンザ年齢群別グラフ(第47週)



咽頭結膜熱 発生状況



咽頭結膜熱 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(27.1)、咽頭結膜熱(6.2)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.7)
都城	インフルエンザ(29.1)、咽頭結膜熱(7.8)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.2)
延岡	インフルエンザ(37.7)、咽頭結膜熱(5.3)
日南	インフルエンザ(20.0)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.0)
小林	インフルエンザ(77.8)
高鍋	インフルエンザ(38.8)、咽頭結膜熱(5.0)
高千穂	インフルエンザ(16.0)、咽頭結膜熱(3.0)
日向	インフルエンザ(31.5)
中央	インフルエンザ(16.0)、咽頭結膜熱(13.0)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

ゲノム解析件数は全国的に減少傾向にあり、宮崎県でも解析対象検体数が減少している。

衛生環境研究所では過去に搬入された検体についても遡及解析を行っているが、8月下旬に採取された検体から BA. 2. 86. 1 が見つかった。

BA. 2. 86 系統は BA. 2 系統の亜系統で、スパイクタンパク質に BA. 2 系統に比較して 30 以上、XBB. 1. 5 系統に比較して 35 以上のアミノ酸の違いがある。現時点で宮崎県での主流は組換え株の XBB 系統で、BA. 2. 86 系統に置き換わる状況にはないが、引き続きゲノム解析を実施し、監視していく必要がある。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

## 🇯🇵 全国 2023 年第 46 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	239 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	87 例		
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	1 例	エキノコックス症	1 例
	エムボックス	1 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	31 例
	デング熱	6 例	日本紅斑熱	6 例	日本脳炎	1 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	33 例	レプトスピラ症	1 例
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	36 例
	急性脳炎	8 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	16 例
	後天性免疫不全症候群	9 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症	33 例
	水痘(入院例)	6 例	梅毒	174 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	27 例

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 117%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は 106,940 人(21.7)で前週比 125%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.50)の約 43.0 倍であった。佐賀県(47.3)、北海道(39.2)、長野県(35.6)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 10,368 人(3.3)で前週比 102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.29)の約 11.3 倍であった。北海道(6.9)、福岡県(6.6)、富山県(5.4)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 6 歳が全体の約 8 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第47週(11月20日～11月26日)

疾病名		第46週	第47週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1227	1885	433	291	264	100	311	233	32	189	32
	定点当り	21.16	32.50	27.06	29.10	37.71	20.00	77.75	38.83	16.00	31.50	16.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	73	94	25	28	8	2	10	4	9	4	4
	定点当り	1.26	1.62	1.56	2.80	1.14	0.40	2.50	0.67	4.50	0.67	2.00
RSウイルス感染症	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	154	174	62	47	21	3	4	20	3	1	13
	定点当り	4.28	4.83	6.20	7.83	5.25	1.00	1.33	5.00	3.00	0.25	13.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	249	254	97	55	30	30	1	20		12	9
	定点当り	6.92	7.06	9.70	9.17	7.50	10.00	0.33	5.00	0.00	3.00	9.00
感染性胃腸炎	報告数	161	202	47	39	2	25	23	16	1	38	11
	定点当り	4.47	5.61	4.70	6.50	0.50	8.33	7.67	4.00	1.00	9.50	11.00
水痘	報告数	2	2	1		1						
	定点当り	0.06	0.06	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	53	56	21	12	5	14	1				3
	定点当り	1.47	1.56	2.10	2.00	1.25	4.67	0.33	0.00	0.00	0.00	3.00
伝染性紅斑	報告数		3	1	2							
	定点当り	0.00	0.08	0.10	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	16	13	3	3	1		1	4			1
	定点当り	0.44	0.36	0.30	0.50	0.25	0.00	0.33	1.00	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	11	4	2			1	1				
	定点当り	0.31	0.11	0.20	0.00	0.00	0.33	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	22	10	7	2	1						
	定点当り	3.67	1.67	2.33	1.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～47週保健所受理分)

2類感染症	結核	99例		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	18例(1)	腸チフス	1例
	重症熱性血小板減少症候群	12例	つつが虫病	16例(3)
4類感染症	レジオネラ症	7例	レプトスピラ症	2例
	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	7例
5類感染症	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例	後天性免疫不全症候群	5例
	侵襲性肺炎球菌感染症	14例	水痘(入院例)	4例
	播種性クリプトコックス症	5例	破傷風	2例
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	165例(4)
			百日咳	5例

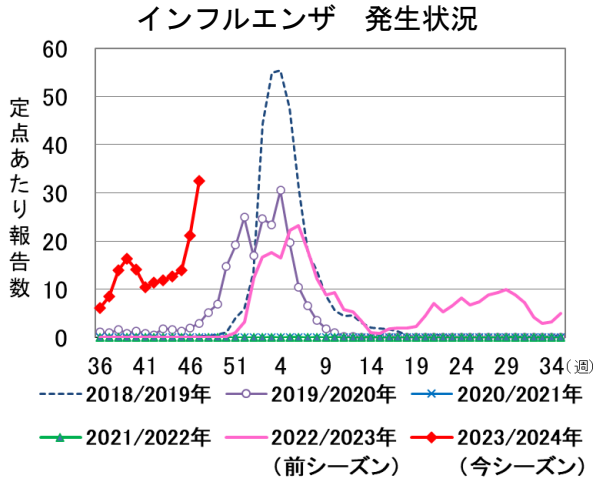
( )内は今週届出分、再掲

## インフルエンザ情報《県内第47週、全国第46週（再掲）》

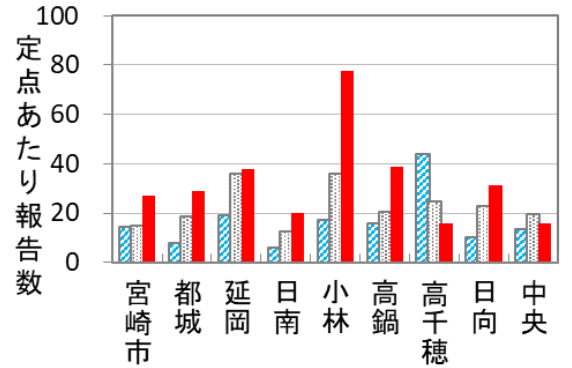
### □ 県内第47週インフルエンザ発生動向

11月20日～11月26日までの1週間で1,885人(32.5)の報告があった。前週比154%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値\* (0.74)の約43.8倍であった。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値



インフルエンザ 保健所別推移(3週分)

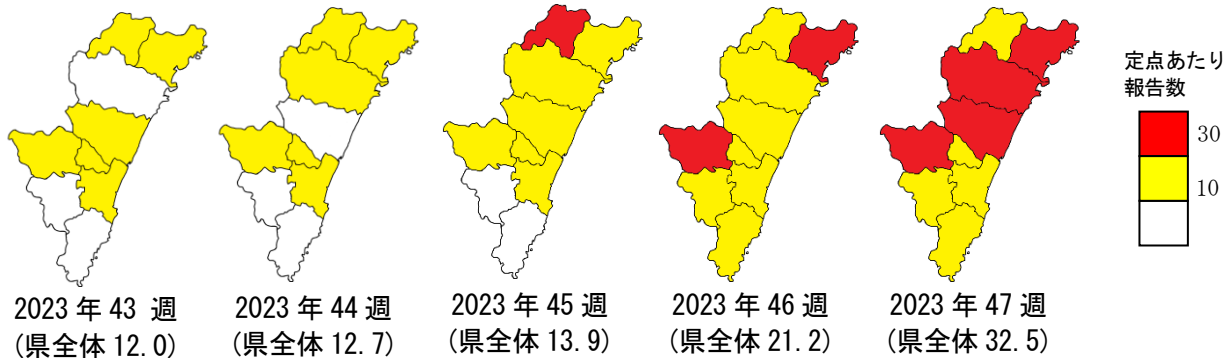


■ 45週(先々週) □ 46週(先週) ■ 47週(今週)

年齢群別割合の推移(2023年第43週～第47週)

1,885人 47週	15%	33%	28%	5%	16%	3%
1,227人 46週	16%	34%	24%	9%	14%	3%
808人 45週	14%	38%	26%	5%	14%	3%
735人 44週	17%	38%	24%	6%	12%	3%
693人 43週	18%	34%	31%	6%	9%	2%
	□5歳未満	□5～9歳	□10～14歳	□15～19歳	□20～59歳	□60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2023年第43週～第47週



### □ 全国第46週インフルエンザ発生動向

11月13日～11月19日までの1週間で106,940人(21.7)の報告があった。前週比125%と増加し、佐賀県(47.3)、北海道(39.2)、長野県(35.6)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の15%、5-9歳が35%、10-14歳が24%、15-19歳が7%、20-59歳が16%、60歳以上が3%であった。